



ワン☆スター

No. 23

平成30年10月23日(火)発行
大田区立松仙小学校
研究推進部 裏研究推進だより



2年生 話題提供授業 協議会まとめ

導入・振り返りの仕方について

導入がスムーズに行われていた。生活科らしいめあて設定の仕方であった。前時の取組を生かしている。指示は正しい言葉で出すようにするとよい。振り返りの書き方は常日頃から指導していく。(授業づくりガイドラインなどを参照する。)

校内研究ハンドブックに、「授業づくりガイドライン」があります。「めあて・見通し」、「中心的な活動」、「まとめ・振り返り」の大まかな在り方が載っています。それらも参考にしながら、子供たちに生活・総合の学び方がより一層定着していくようにしたいですね。

話し合いの仕方について

- 児童の関係によって、選ばれる質問が決まってしまうように感じた。本当に同じ質問といえるのか、本当にその選び方でよいのか、十分に検討していく必要がある。
 - 何をもってピンクのカードに貼られたのか、やや不明確なことが多かった。
 - 「人気」とはということか。児童の活動を見ると、人気という視点では質問を選んでいるように思った。(1回目にしていない質問を選んでいるグループも見られた。)
- 基準をもって選んでいるグループを授業の途中で紹介する。
- 「お客さんがたくさん来そう」などと言葉を置き換える、などの改善策が考えられる。
- 「なぜピンクなの？理由を説明して。」と求めている子もいた。人気で選んでいたグループ、児童の関係で決まっていくグループ、何となく選んでいたグループ、分からないことを選んでいたグループなどが見られた。

選ぶ基準を子供と一緒に明確にすることで、学習のねらいを達成することにつながっていくと思います。「人気」とは、ということを用いのか、何をもって質問を選んでいるのか子供も分かった状態で活動できるといいですね。

付箋の活用について

- 上に貼ってある付箋のほうが優位な感じがする。
- 反対側から文字を読むのは難しい。(同じ方向から文字を見て話し合うようにする。)
- 読まないで付箋を貼っているグループもあった。

文字情報を扱う際は、机の形態や椅子の有無などをよく確認していきましょう。(これまでの話題提供授業でも何度か話題になっていますね。)

指導・講評

(横浜市 こども青少年局 担当課長 永野理英子先生)

- 子供に寄り添うと同時に、教師が明確にねらいをもつ。→これをすり合わせるような研究をしていくとよい。
- 指導案…よくつくられている。予想される思考や気付きを丁寧に書いてあるのがよい。
- これからの協議会では、子供のエピソードを語るようにしていくとよい。子供の学びの事実についての意味があるのかよく考える。
- Nくんの学びを基に、見取り方について「2人でどれだけのパンをつくれるんですか？」
- 子供が言葉で言ったからといって、「分かった」、「やりたい」と判断するのではなく、「今ここで何が起きているか」よく見ていくことが大切。
- 心を開いて、子供を見ていく。
- 人気にするという課題には切実感があるかどうか。切実感のある課題には、一生懸命取り組むことができる。
- いい学びを全体に広げるとというのが教師の役割。
- (協議会について)課題には改善策を付けていくようにする。

学びの事実を丁寧にとらえていくことを心掛けていくようにします。協議会や今後の研究の方針についても、たくさんのご指導をいただきました。よりよい研究に向けて皆さんでがんばっていきましょう！

(担当：三戸)